

黄金色に染まる、麦秋の東播磨 特産の六条大麦収穫間近

JA兵庫南(兵庫県加古川市、野村隆幸組合長)管内の特産である六条大麦は、1981年ごろから栽培をしています。それ以前は米の裏作として小麦などを生産していましたが、刈り取りが梅雨時期にかかり、多湿による赤カビの被害にあいやすいことや、田植えと時期が重なるなどの理由から栽培品目の模索が始まりました。営農組合を中心とした生産者らと協力し、試験栽培を続けた結果、麦茶の原料となる六条大麦の品種・シュンライを選択。当初は栽培面積約100ha、収穫は500tに満たない量でしたが、2022～24の平均栽培面積は423ha、平均収量は1,480t程度となりました。今もその生産の多くを支えるのは営農組合です。集落を単位に専業・兼業農家などが協力して、農業生産を共同で取り組む営農組合は当JA管内に56あり、東播磨地域農業の大きな特徴の一つといえます

麦秋を迎えた東播磨の風景や営農組合の収量や品質向上の取り組みをぜひ取材いただき、報道の資料としてご活用ください。

品種:六条大麦「シュンライ」

栽培地域:東播磨地域(稲美町、加古川市)

特徴①西日本有数の六条大麦産地

- ②営農組合を中心とした生産
- ③関係機関と連携した認知向上の取り組み



収穫時期:5月下旬ごろから順次

栽培面積:約470ha(令和7年産)

収穫予定量:約1,500t(令和7年産)

どんな取材が可能か:当JA職員、営農組合へのインタビュー
六条大麦の圃場、作業の撮影など

JA兵庫南は明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町を管内に、暮らしを支えるさまざまな事業を展開しています。地域産業の一つである農業の振興を柱に、地産地消や食の大切さを発信しているほか、地域が安心できる暮らしづくりに力を注いでいます。

この件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先
JA兵庫南 総務部ふれあい広報課 担当:西垣・高見
直通電話:(079)424-1388 FAX:(079)424-1134
email:takami339@ja-hyogominami.com